

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法治療学			必修	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
高木 大輔		D315	d.takagi		火曜日 10:30~12:10	
授業の目的・概要		理学療法を実施するにあたり、まず理学療法の一連の過程を理解することが大切である。そのため理学療法治療学では、症例から得られた情報の統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、治療プログラムの立案方法を学び、理学療法の系統的プロセスを同時双方型授業などで習得することを目的とする。まず理学療法評価・治療の系統的プロセスについて講義を行う。その後、動画やペーパーシミュレーションなどによる症例提示に対して、治療プログラムの立案、効果判定まで行う。				
学習上の助言		授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書		PT 症例レポート赤ペン添削 ビフォー&アフター/著:相澤純也、美崎定也、石黒幸治/羊土社/2016				
参考書		理学療法リスク管理マニュアル 第3版/聖マリアンナ医科大学リハビリテーション部/三輪書店/2014 運動処方指針 原著第8版/監:日本体力医学会体力科学編集委員会/南江堂/2013				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	基本的な理学療法の系統的プロセス（評価から治療）を説明できる。			PT (2)、PT (3)、PT (5)、PT (6)		
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	理学療法評価・治療の概要を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	症例提示に対する課題やレポートなど	4		
2	理学療法評価・治療の一連の過程を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	理学療法評価・治療の一連の過程に対する課題やレポートなど	4		
3	「系統的プロセス①」 統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の概要を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の概要に対する課題やレポートなど	4		
4	「系統的プロセス②」 統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の概要を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の概要に対する課題やレポートなど	4		
5	「系統的プロセス③」 症例提示 (大腿骨骨折) 統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の方法を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	症例提示に対する課題やレポートなど	4		
6	「系統的プロセス④」 症例提示 (大腿骨骨折) 統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の方法を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	症例提示に対する課題やレポートなど	4		
7	「治療プログラム①」 1.内容、2.効果、3.トレーニングの原則 (FITT:運動強度、頻度、持続時間、タイプ)、4.リスク管理 (救急措置等も含む) の概要を学習する。 フィードバック：課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	治療プログラムに対する課題やレポートなど	4		
8	理学療法評価・治療の記録、報告方法を学習する。	同時双方型授業	理学療法評価・治療の記録、報告方法に関する課題やレポートなど	4		
9	ペーパーシミュレーション症例提示 (脳卒中) 統合と解釈を学習する。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど提出	4		
10	ペーパーシミュレーション症例提示 (脳卒中) 問題点の抽出、目標設定を学習する。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど	4		
11	ペーパーシミュレーション症例提示 (脳卒中) 治療プログラム、リスク管理、考察を学習する。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど	4		
12	ペーパーシミュレーション症例提示 (脳卒中) 治療プログラム、リスク管理、考察を学習する。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど	4		

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

13	症例（脳卒中）に対する統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察を復習する。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど	4					
14	症例（脳卒中）に対する統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察を復習する。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど	4					
15	症例（脳卒中）に対する統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察をフィードバックする。	同時双方型授業	症例提示に関する課題やレポートなど	4					
試	定期試験 達成度評価、評価ポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		80	20	0	0	0	100		
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80		
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。教科書ならびに配布プリントから国家試験形式などで出題し、理解度を問う（筆記試験、80%）。				解答等を提示し、解説を行う。		
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①	✓	提示症例に対して治療プログラムの立案、効果判定まで行い、理学療法の系統的プロセスの理解度を問う。レポートのまとめ方は講義時に提示する（20%）。				15回目に、統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察について模範レポートを提示しながら解説する予定である。		
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
<p>担当教員：◎高木 大輔</p> <p>教員の実務経験：理学療法士として7年の臨床経験あり。</p> <p>実践的授業の内容：動画やペーパーシュミュレーションなどにて症例提示をする。また実際に担当した症例を通して学んだ治療の視点・工夫などを提示する。</p> <p>遠隔授業：teams などを使った同時双方型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</p> <p>今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があり。</p>									